

あやがわ



議会だより



綾川町成人式(H24.1.3) 綾南農村環境改善センター



新年のごあいさつ	2p
定例会のあらまし(一般会計補正予算、物品売買契約等)	3p
4委員会報告	4~5p
一般質問に新しいまちづくりなどで8人が質問	6~9p
平成22年度の決算審査・認定	10~11p
羽床小学校の児童が見た議会(傍聴記)	12p

新年のごあいさつ

綾川町議会議長 造田 節夫



平成24年の新しい年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。町民の皆様にとつて健やかで幸せな一年となりますようお祈り申し上げます。

昨年、春に東日本の大震災、秋の相次ぐ台風による未曾有の被害に見舞われ、自然の厳しさを改めて思い知らされました。

こうした災害の中にあつて、かけがえのない命、家族の絆、地域の連帯する力、そして復興への懸命な姿を見るにつけ、特別な思いの一年でもありました。

これまで経験したことのない教訓をしっかりと受け止め、災害に対して「安心・安全」の備えを強いものと、意を新たにしているところです。

さて、新しい年を迎える綾川町は、合併以来、町民皆さんの素晴らしい力を得て、行・財政ともに順調に推移し、今年度から始まる第2次5ヵ年計画をもとに、更なる飛躍の年にもなります。

4月には生涯学習センターが開館し、歴史・文化の発信地、社会教育の拠点として期待が寄せられています。

また、将来のまちづくりとして、ことடன்新駅の設置、綾上・綾南中学校の耐震と改造・改築、昭和保育所の新築、ため池の防災対策、子育て支援、道路・橋梁の整備、農商工の振興など新規74事業を含め123事業が計画されています。

「笑顔、元氣、くつろぎ」住んで良かったと言えるまちづくりを、一層推進していく決意です。

町民皆様の議会に対するご指導をお願いし、新年のごあいさつとします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

綾川町議会

議長	造田 節夫
副議長	鈴木 義明
議員	宮本 勝利
議員	安藤 利光
議員	石井 和義
議員	野中 邦夫
議員	村瀬 秀則
議員	碓石 眞己
議員	河野 雅廣
議員	田辺 健次
議員	中西 一幸
議員	松浦 正昭
議員	横井 薫
議員	福家利智子
議員	福家 功
議員	川崎 泰史



12月定例会

台風12号被害の復旧費に

5億3800万円

一般会計補正予算など可決

12月定例会は12月9日から16日までの8日間を会期として開催した。

本会議初日は町長から、「物品売買契約の締結」平成23年度一般会計・特別会計補正予算」など議案16件の説明があり、8議員による一般質問の後、提案された各議案を関係常任委員会に付託し散会した。

12日から14日までは、各常任委員会を開催し、付託された議案を慎重審議した。また、15日には学校等再編整備調査特別委員会も開催された。

16日本会議を再開し、常任委員会、特別委員会の審議内容を各委員長が報告、採決の結果すべての議案を原案通り可決した。

9月議会で継続審議になっていた「22年度一般会計および特別会計の決算認定」は、11月に開催した決算審査特別委員会の審査内容について委員長報告、採決の結果、賛成多数で可決承認して定例会を閉会した。

今回の傍聴は、羽床小学校6年生17名を含む24名だった。



12月定例会本会議

物品売買契約の締結

◎生涯学習センター

図書購入事業

契約金額

3099万6000円

(消費税込み)

契約者

(株)図書館流通センター

(東京都文京区)

代表取締役 谷一文字

◎生涯学習センター

展示用備品購入事業

契約金額

1995万円

(消費税込み)

契約者

(株)丹青社

(東京都台東区)

代表取締役社長

青田嘉光

(3面に関連記事)

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ6億2013万6000円増額し、総額を97億3665万8000円とした。歳入の主なものは、地方交付税、分担金及び負担金、国庫支出金、町債などを充当。

歳出の主なものは、農林水産業費、土木費、台風12号による災害復旧関

連などの増額。

特別会計補正予算

◎国民健康保険

保険給付費、後期高齢者支援金、過年度分超過交付金返還金などの増額により、総額を29億3797万1000円。

◎国民健康保険診療所

基金積立金などにより、総額2億3682万90

00円。

◎後期高齢者医療

保険基盤安定拠出金などの増額により、総額3億2568万7000円。

◎介護保険

介護保険事業財政調整基金積立金、償還金などにより、総額24億5810万4000円。

◎農業集落排水

施設費の増額により、総額1012万8000円。

◎下水道事業

中讃流域下水道維持管理負担金などにより、総額5億2119万2000円。

◎国民健康保険陶病院

給与改定、職員の異動などにより、1438万7000円減額し、病院

事業費用14億2800万4000円。

◎介護老人保健施設

臨時職員雇用に伴う賃金などにより211万8000円増額し、施設事業費用3億1107万円。

◎水道事業

受託工事費で500万円などを増額し、水道事業費用5億8362万9000円。

臨時会

職員給与と条例一部改正

11月25日に、第4回臨時会を開会し、給与条例の一部改正についての議案1件を原案通り可決した。

一般職の給料月額を、12月から平均0・23%引き下げ、4～11月分は冬のボーナスで減額調整した。

心・安全を運ぶ自動車として活躍することとなった。旧の救急自動車は高松市消防局の予備車として利用する。

委員会報告

総務委員会 12/12

生涯学習センターの図書購入に、(株)図書館流通センター代表取締役 谷一文字氏と3099万6000円で、仮契約を締結。

問 契約金額、図書の選定方法、図書館の管理体制はどのように。

答 金額は、新規の図書購入と、冊数が多いため高くなった。選定は、町の図書館協議会で選書し

た。また、施設の管理体制は指定管理者制度の導入により、綾上図書館も含め10人の予定である。

生涯学習センター展示用備品購入のため(株)丹青社 代表取締役 青田嘉光氏と1995万円で仮契約を締結。

業者の決定は

問 備品を扱える業者は何社あるのか。この業者に決まった理由。ふるさと資料館はどうなのか。

答 3業者あり、見積比較により決定した。ふる

ことでも新駅用地測量費可決

平成23年度一般会計補正予算

歳出は、9月の台風による土嚢作成委託料70万円、ことでも新駅に向けた用地測量費300万円、腐葉土処理業務委託料84万円、中学校全国大会参加費補助金289万円など。

歳入は、「地方特例交付金」、「地方交付税」の増額補正、「繰越金」の

確定に伴う増額補正である。

問 多額の投資をして、新しいまちづくりをするより、社会保障、老人福祉の充実を先にしてはどうか。

答 まちづくり事業を実施すること、将来の社会保障に必要な、下支えの人たちが定住するまちづくりを考えている。

問 新しいまちづくり事業委託料は第2次5カ年計画にある事業である。平成23年度での補正予算はいかがなものか。

県内でも初めての高規格救急自動車を配備

県内初めて高規格救急自動車を配備

県内でも初めての高規格救急自動車を配備した。町民の安



高規格救急自動車内

厚生委員会

12/13

綾川斎苑の指定管理者の指定

(株)五輪委託期間

平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間

問 綾川斎苑の運営、特にマイクロバスの送迎は、また、勤務体制は。

答 新たな葬祭場ができ自宅葬が顕著に減少、霊柩車及びマイクロバスの運行は今まで通りとする。勤務体制は、管理責任者、火葬炉の運転、霊柩車及びマイクロバス運転手、受付事務各1名である。

介護認定審査会費

問 主治医意見書作成の件数及び手数料は。

答 1800件計上していたが100件の増。1件当たりの手数料は例えば在宅の新規作成者で5250円である。

町内に産科医を

問 滝宮総合病院に産科

医を設置、また院内保育の整備は。

答 産科の設置を働きかける。また院内保育は、設計段階で指導し夜間保育も働きかける。

問 シルバー人材センターの職種を増やし働く場の提供を。

答 平成24年度から介護支援ボランティア制度を運用する。また、シルバー人材センターでの作業も検討していく。

竣工検査は

問 建築工事における工事管理は。

答 工事発注後、課長・担当者・工事監理委託業者・現場代理人の出席による工程会議を定期的の実施している。



綾上診療所

厚生委員協議会

12/1

現地にて綾川町総合保健施設綾上及び綾上診療所外部修繕工事・昭和地区保育所用地に関する説明を受けた。

昭和地区保育所の進捗状況は、既に用地は地権者と契約締結済みである。現在建築並びに造成に関し、山下設計関西支社と契約締結している。契約金額1827万円で基本計画・実施設計・造成設計も含めている。

問 施設の基本設計は約200名規模と聞いているが将来における幼保一体的な視点は。

答 現在北・南で約160名の保育所児がいるが、将来的に未満児等特別保育も予想している。

問 平成25年の開所に向けて定員の募集に関する要綱等どんな考えか。更に保護者の意見も十分に聞き決定頂きたい。

答 保護者等の意見を尊重し定員を決める。

建設経済委員会

12/14

一般会計補正予算

●農林土木災害復旧費

台風12号の豪雨災害による農地及び農業施設184件、262カ所の災害復旧事業費の増額補正である。

●道路橋梁災害復旧費

台風12号及び豪雨により河川3カ所、町道11路線での19カ所、合計22カ所の災害復旧事業費の増額補正である。

町単独の生活道災害復旧支援事業を平成23年9月1日より開始。迂回路のない生活道の災害応急復旧工事を支援するもので補助率は50%以内。また、急傾斜地崩壊防止対策費は今年の台風災害を考慮し平成23年11月より地元負担10%とする。

問 水道水の残留塩素について目標設定をどうしているのか。

答 浄水場において1ℓ当たり0.6～0.7mgを目標としている。各家庭の給水栓で0.1以上の基準があり、

巡回での計測は綾南系を週3回、綾上系を隔日で、また末端給水栓での毎日計測を5名の方に委託してチェックしており、適切な水管理を行っている。

問 綾南プラザ道の駅の売上金額の減少に伴い、今後の総合的な見直し、第三セクターとしての位置付けは。

答 運営委員会での研究、指定管理者制度も含めて、今後のあり方等について検討していく。

問 ことでのん新駅前農工商観光の施設整備は。

答 町商工会、JA香川県等での事業展開等、今後新駅を中心とした活性化施策を検討していく。

要望

中山間地域は自然災害の被害を受けやすく、また被害も大きくなりやすい。施策からもれている住民の皆様も多い。

今後、広い援助を行えるよう検討して欲しい。



綾南プラザ道の駅

中学校工事の進捗率は

中学校の工事状況は

答 綾上中学校の工事進捗率は12月8日現在57%である。綾南中学校の用地は地権者と交渉をしているが、進捗状況も踏まえて基本設計業務委託期間を平成24年3月末までに延長した。

アンケート調査は慎重に

問 保護者の一部から、アンケート調査は慎重に実施して欲しいと聞いたが。

答 学校再編関係は丁寧に説明し、住民感情にも配慮していく。

保護者の意見を聞いて

問 西分保育所は入所者が少なく、運営に支障をきたすため、休所の検討の必要性があると説明があった。しかし、環境も良く、床暖房も備わった保育所である。保護者の意見を十分に聞いては。

答 保護者の意見を踏ま

え、議会と協議し検討する。

要望

10月段階の保育所入所希望者は、昭和北保育所は定員90人に対し、95人と定員を上回っている。保育所統合は、押し付けてなく保護者の理解と納得のもとに進めるように。また、幼児教育プランは、子どもの教育や保育を第一の視点を持つように。

入所希望者が定員を上回るときは。

答 入所は希望保育所で調整し、他の保育所へ入所をお願いしている。

基本計画図(案)の説明があったが、保育環境、安全、安心対策、災害対策はどのように。

答 保育室へ自然光の取り入れ、火災時の避難経路の確保、屋外フェンスなどの安全施設を行う。また、保育士・保護者会の要望も踏まえて設計協議を行っている。

震災を想定した施工を

造成工事の盛土数量

が3万㎡と大きい。設計時に的確な土量の把握を。また、震災を想定した施工管理を。

答 土量の設計数量は精査し、造成工事の施工管理に万全を期す。

問 農地転用許可、造成工事の着工は。また、太陽光パネル設置、周辺対策は。

答 農地転用許可は12月20日の見込みであり、造成工事は平成24年3月頃からかかりたい。太陽光パネルの設置はしない。照明設備のLED化、オール電化設備など省エネに配慮した施設を考えている。また、周辺対策は関係者と計画図に基づき、今後協議をする。



昭和保育所建設予定地

いっぱん
質 問

村瀬 秀則 議員

新駅構想は

有益な施策を講じる

問 新駅構想は町の活性化の起爆となると思う。しかし単なる鉄道新駅だけではなく、民間企業による地元商店活性化(商店街パティオ事業)、そしてスマートフォン機能をも併せた高度化事業でなければ、次代を見据えたまちづくりではない。

新駅整備後も引き続き事業を展開する。

Q 中小企業支援と若者の雇用対策は。

A 強い地元企業の育成支援策、活性化対策を調査・研究する。

町長 「新しいまちづくり構想」は、さらに進展していくことが予想される少子高齢化社会において、公共交通機関を核とし、様々な機能の集積を図り、より快適で利便性の高い居住空間を創出することで、社会保障制度を下支えする人口の減少に歯止めをかけていく。



新駅予定地

緊急・災害時の職員の配置は

各団体と連携してマンパワーの確保

問 町の仕事は「ゆりかごから墓場まで」と言われるように、日々住民の暮らしに密着し、安心と安全を提供する大きな役割を持ち、その推進力は職員にかかっている。

3・11東日本大震災の復興にあたり、

わが町にあって行政の推進はマンパワーを基本におき、住民の持つ多様な行政サービスの推進と、緊急災害時に備えるためにも必要かつ適正な職員の配置は当然のこと。現在の職員配置や定数は適正か。

町長 ほぼ適正規模を保っている。災害などの非常時におけるマンパワーの必要性は、決して軽視すべきではない。消防団を始めとする各種団体との連携を密にし、非常時に備える。



町役場

問 ため池の再編管理は。快適な水辺空間づくりを努める。

町長 先人の知恵と農民たちの命として、大切に守ってきたため池も昨今は、管理や水質について大きな課題が生じている。

ため池の保全やきれいな水による美しい水辺の環境を整えることにより、住民の憩いの場として、また、観光資源として生かせる池も少なくない。今後、ため池の再編整備などについての施策は、町長 ため池整備においては、使われなくなった危険ため池を廃止したり、より効率的にため池整備を図ることが出来る「地域ため池総合整備事業」に取組んでいる。

問 平成24年度から始まる、第5期介護保険事業計画では、65歳以上の第1号被保険者の保険料は平均で月額5000円を超える。国は試算している。しかし、介護給付費の増加分を保険料負担に転嫁するのは限界である。財政安定化基金などを取り崩し保険料の引き下げに充てては。

町長 給付見込み額の推計を行い、保険料の試算準備をしている。時期計画では、介護老健施設など給付費上昇分も勘案した保険料算定も含まれて

安藤 利光 議員

基金など取り崩して、保険料の引き下げを

介護保険料負担を少なくなるようにしたい

いるが、町は基金などの活用により急激な上昇は抑えて保険料負担を少なくしたい。

町長 対象外となる災害復旧工事に、町は支援を。

生活道災害復旧支援として、補助を行う。



介護老人保健施設あやがわ

問 災害適用にならなかつた農地が半分もあり、復旧工事をするにも多額となり、住民は大変困っている。旧綾上では、平成16年台風時、受益者が1戸以上の宅地災害のところも、町は補助を行ってきた。対象外となる災害復旧工事に町は支援をしては。

町長 生活道災害復旧支援として、9月から行っている。この制度は、個人・共同が日常生活上迂回路がなく、災害により交通の妨げとなり生活上支障が生じる時の災害復旧事業で、工事費の半分を補助する。また、災害の対象とならない農業施設の復旧工事は町単独事業として補助する。しかし、農地・宅地の災害復旧支援は、今のところ考えていない。

問 町内で唯一産婦人科（分娩のできる科）のあった滝宮総合病院ではすでに産科は休診状態であり、妊産婦は町外において赤ちゃんを産まざるを得ないのが現状である。

婦人科医を招聘するのは滝宮病院の努力はもちろんであるが、行政の立場からも連携を密にして側面からも応援すべきではないか。町内で安心して赤ちゃんを産むことができる病院があることが、若い人たちの定住を促進し綾川町の少子化対策にもなると思うが。

町長 滝宮総合病院の産科については、産婦人科医は配置されているが、診療は婦人科のみで産科の受付はしていない。妊産婦は町外の病院等において出産をしている。

松浦 正昭 議員

Q 滝宮総合病院に産科医を

A 側面から鋭意努力する

では87人であり、平成10年の109人からすると20%の減少である。また、県内の若手産科医が不足している現状からも、今後10〜20年後における産科医が、更に減少することが危惧されている。滝宮総合病院は、24年秋に新病棟の完成、25年10月の全面オープンにむけて建築が進んでおり、医師確保について鋭意努力され

ているところであるが、町としても滝宮総合病院と連携して産科医確保に向けた支援をしていくとともに、関係機関への働きかけを行い、医師確保対策を講じていくよう更に要望していきたい。また、町から要望していた、病院内保育所の整備もされるようになっており町にとって少子化対策として期待している。



産科の充実に支援を

田辺 健次 議員

Q 陶病院売店施設、アンケート結果は

A 利用者のニーズをもとに、日替わり弁当の販売を始める

問 陶病院は建設され7年が経過した。見舞客より「病院近辺では店が無く、不便である。ぜひ病院内に売店を作って欲しい。」との声があったため、

を販売して好評をいただいている。平成23年6月、売を始めています。販売促進の努力と利用者の声を聞き、品揃えを充実させ、愛される売店にしていきます。

院内売店を作業所「ゆう」の方に協力していただき営業している。老健完成時には本格的な売店を考えていくとの答弁を頂いているが、早くも2年が経過している。早い時期に売店を設置しては、最近病院では、入院患者に売店についてのアンケートを実施したと聞いているが結果は。



直営を望む売店

Q マムシに咬まれたら

A 慌てずに救急車を



慌てずに救急車を

問 町内には多くのマムシが生息している。小さい頃からマムシに咬まれたら即血清を打たなければ死亡するかのようには教えられているが、その死亡率は1%前後である。正しい知識を町民の皆様へ公的医療機関を通じて周知・啓発すべきである。

ここ数年で町内の医療機関からマムシ抗毒素血清が消えている。現在、町内の医療機関に血清は

有るのか。血清が有るといっただけで、安心感が変わってくる。今一度、公的医療機関である陶病院に血清を常備していただけるよう強く要望する。

町長 マムシ毒に対する有効な治療方法には、早い段階でのマムシ抗毒素血清の投与等がある。現在、町内でマムシ抗毒素を備蓄している医療機関は無いが、医薬品卸売業者が常時備蓄しており、医療機関に迅速に配送できるシステムが整っている。また、高松・中讃地域においては、香川大学附属病院を含む数カ所の中核病院において備蓄を行っている。

万一、マムシに咬まれた時は、慌てずに救急車を要請し、的確な判断および処置が可能な医療機関への配送を求めるのが最善の方法であり、町及び陶病院のホームページ、さらには広報紙等により広く住民の皆様へ周知・啓発を行っていく。

Q 高齢者向け福祉サービスを含めた情報化

A 時代にあった導入と民間サービスを活用・推進

問 情報技術が進化および低価格化している。また光ファイバー網の整備が最終段階になり、新サービスにより月額負担金も軽減となった。そのような中、情報化活用の例として

- ・ 見守りサービス
- ・ 緊急連絡サービス
- ・ 買い物支援サービス
- ・ などの福祉サービスの今後の展開をどう考えているのか。

町長 光ファイバー網の整備により、町内では地域情報差がなくなり、今後も情報化を推進する考えである。またこの分野は技術革新が目覚しく、時代の流れにあわせた導入も考えている。

高齢者向け福祉サービスの今後の展開について、民間において既に福祉サービスを提供してニーズに合っているものは、これを利用推進する。買い物支援は既に一部スーパーマーケットにおいて実施されている。また町内において、ひとり暮らしの高齢者等に対し、福祉電話を利用し、見守りや緊急時の連絡、一人暮らしの孤独感の解消、健康状態、安否の確認を行っている。

高齢者向けの情報化技術の中で数少ない成功事例として徳島県の上勝町の取り組みがあり、大手企業の協力の下、開発が行われている。

町も先進的な取り組みを行い、大手企業の協力を得たシステム開発を行うてはどうか。

町内NPO法人で試験中の端末



町内NPO法人で試験中の端末

Q 入札と完成時検査は

A 公正かつ厳格な執行を行う

問 平成24年度より始まる、第2次5カ年計画での公共工事は、町住民の対価でもあり、行政サービスであると思うが、どのような適正公共工事入札をしていくのか。また工事完成時の検査は、どのように行っていくのか。

答 契約には、より一層の適正化が求められており、町としても、入札・契約の過程、内容の透明性の確保のため、年度の発注計画、入札結果等に係る情報をホームページ等で公表し、さらに平成23年4月からは現場説明を文書によるものに変更し、



生涯学習センター

公正な入札制度の構築に努めている。また本年度からは、工事現場の施工体制を確実に把握するために、現場代理人の専属を徹底させ、施工体制の適正化にも努めている。完成時検査には、適時、担当職員が現場で設計書、工事等の標準仕様書等に基づいた内容等の検査を行っており、また、建築等の特殊な監視技術を必要とする場合は、専門的な技術を持つコンサルタント業者へ設計監理を委託し、適正な施工監理等を行っている。竣工検査時の、工事検査員については、契約の履行の確認を行わせるため、担当課長を検査員とし、香川県土木工事検査・監督の指針等に基づき検査を行っている。また、入札・契約手続きの公正かつ厳格な執行、施工監理等をより厳格に行い、適正な施工を確保し、良質な公共工事が効率的に実施できるよう引き続き対応していく。

ほかにもこんな質問がありました。

太陽光発電への補助制度は

問 四国は日照時間が長く、全国で15位以内に香川も入っており、森林面積でも高い。太陽光などの自然エネルギーの利用

を。また、太陽光発電の補助制度は、県下10自治体で行っている。町はどのように。

答 原発の事故以来、風力、水力などの自然エネルギー活用など、原発に依存しない電力の運用が図られている。

また、太陽光発電システムの補助制度は、費用対効果と継続性を考えて慎重に検討していく。

耐震改修に

かかれるように

問 県内に1万4000個あまりのため池がある。町内でも心配される老朽

ため池が多い。南海地震が発生すれば、決壊の恐れもある。早く、耐震改修を。



太陽光パネル設置住宅

答 国の制度を活用して、平成24年から5カ所整備を進める。また、10万ト

ン以上のため池についても耐震調査、地籍調査を行っていく。

国庫負担の復元を

問 国保財政悪化と国保

税の高騰を招いているのは、国の予算縮小である。25年前には、医療費の45%とされていた定率の国庫負担はその後、国保事務費などへの国庫負担を縮小・廃止したため24%に減っている。国に要望を。

答 町村会を通じ、引き続き国・県に要望する。

問 羽床下地区の綾川改

修は未着工のままである。そのため、田畑や家屋浸

水に脅かされ、今回も白髪淵堤防より氾濫し、民家にも押し寄せてきた。危険な箇所とわかっていて放置しており、まさに人災である。このことを踏まえ、町は、県へ要望事項として取り上げていただいている。

しかし、県は通行止めのまま未着工の道路がある。県に強く要望を。

答 台風12号で、綾川白髪淵付近の越水で羽床駅東側の町道停車場線をはじめ、宅地への浸水があり、羽床下地区に、多大な被害をおよぼした。

町は、決壊等が予想される危険箇所は、河川改修を実施するよう、国、県に強く要望する。

現在、白髪淵付近の堤防の応急工事は完了し、御山大橋下流から白髪淵付近の河床整理のための堆積土の調査測量は、発注の準備を進めている。

また、道路の路肩崩壊による通行止めは、地元水利組合の水路改修後に、復旧対応する。

及び企業会計の決算を審査・認定

一般会計

財政調整基金に7億円を積み立て

平成22年度の決算審査を行う、決算審査特別委員会（委員長 田辺健次 他6名）は、11月21日、22日、24日の3日間、開会し、慎重に審議した結果、一般会計および特別会計、企業会計の決算をいずれも認定した。

一般会計

歳入 87億8822万円
歳出 77億5603万円
差引 10億3219万円

そのうち、7億円を財政調整基金に積み立て、残金のうち7096万円を翌年度へ繰越した。

総務関係

問 財産貸付収入で粉所田万地区にあるジェコス（株）へ貸付していた部分はどうのような状況か。

答 ジェコス（株）より返還の申し出があったので、現在町で管理している。

問 納税者の利便性を考えて、コンビニ収納を。

答 平成24年度に電算システムの改修を行うので、平成26年度導入に向けてコンビニ収納ができるようにする。

問 ゴルフ利用税が高いとの声があるが、今後高くなっていくのか。

答 平成22年度は321

0万円余り、交付金として入ってきている。ゴルフ場規模や利用料金などにより定めた額を一度県に納付し、その額の70%が面積割として交付される。

今後、利用税が高くなるといふ話は聞いていない。

報告 自治会組織の未加入者が多数のため、書類発送に多額の費用が生じている。平成22年度より配達方法を変更した結果、152万円余りと60万円減額になった。今後、自治会組織への加入を粘り強く勧めていくとの報告があった。

問 住民税の滞納は5年で時効が発生するが、滞納者にどのような対応をしているのか。

また、過去における滞納者には、年数に拘らず話し合い、納税してもらおう方針であったが。

答 時効は法律により5年経過後、徴収権自体が消滅する。しかし、納付が可能なものについては、今後も公平性を踏まえ対応する。

厚生関係

問 陶病院は職員の努力で良い印象があるが、医師の退職により患者とのコミュニケーションがと



陶病院

れる医師が減少している。長期の勤務ができるようになるには。

答 現在、内科の医師は6名であり、老人保健施設などを考えれば7名が望ましい。今後努力したい。



決算審査

平成22年度 一般会計と特別会計

問 福祉電話貸与事業委託料が計上され

問 町の老健施設は、以前スタッフの対応が良かったが、現在は質の低下を感じる。教育はどのようになっているのか。また、入院患者には認知症の患者も相当いるが、その方からの暴力行為はされていないのか。

答 スタッフの研修は定期的に実施しているが、時間的制約もあり手薄になりがちである。家族の意見をもとに会議を実施しており、今後質の高い職員採用を考えていく。また、認知症の方からの暴力行為もある。3カ月に一度の更新に合わせ、家族間で相談し、状況に合う施設を検討している。



福祉電話

問 現在、ごみ収集に当たっている車両は今後どうするの。

答 3台保有しており、そのうち2台整備し、東日本大震災の被災地に送るために登録を行い、現在連絡待ちの状況である。もう1台は町で管理している。



西分一般廃棄物最終処分場

問 西分一般廃棄物最終処分場

問 町891トン、高松市国分寺町が1313トンと1.5倍近く多い。し尿処理量は、綾川町5029kl、高松市国分寺町は4553klと逆に少ないが。

答 ごみの埋立量の違いは人口比例による。し尿処理量で高松市国分寺町が少ないのは、下水道処理が進んでいるためである。

問 住宅新築資金の返還金は何名なのか。

答 3名に貸付をしているが、そのうち2名から返還された。残りの1名には督促をしている。

問 綾上淡水魚研究会への放流事業補助金について。

答 鰻、鮎、あめごの稚魚の放流事業に対して実施している。

問 下水道整備計画区域外の住宅密集地域は、将来的に整備しては。

答 現整備計画による

建設経済関係

問 観光振興事業費のレクリエーション農園の場所は。

答 昭和地区の南かざし農園、滝宮地区の川の坂農園とグローリーヒル農園の3カ所の49区画で、1区画当たり年間2000円で貸し付けている。

問 柏原溪谷キャンプ村の集客において、特に、11月中旬から2月末までの閑散期の宿泊者を対象とした朝食材料の無料提供、うどん会館やいちご農園の利用割引券の発行による宿泊サービスを開始している。



柏原溪谷キャンプ村 TaTuTaの森



熱心に傍聴する羽床小学校6年生

議会 傍聴記

あなたも、議会を
傍聴してみませんか。

手続きは住所・氏名・
年齢を記入するだけ
です。

次の定例会は
3月の予定です。



羽床小学校6年生のみなさん、 傍聴ありがとうございました。

話し合いが行われていた本会議場はとても静かで、学校とは雰囲気の違いが感じられます。9時半になりよいよ会議が始まりました。

初めに藤井町長さんが話をたくさん話していましたが、少し難しくても内容はあまり分かりませんでした。

次に議員さんたちの一般質問です。その中で村瀬議員さんは、羽床の「白髪ぶち」辺りの河川改修工事のことについて質問をしました。そして藤井町長さんがそれに対して具体的な数字をあげながら答えていました。その様子を見て私は、住んでいる地域をよくしようと思いで話しかけて話を聞いています。また、傍聴席には私たち以外に4人来ていました。ちゃんと役場にきて町議会の内容を確認することも大切なことだと思いました。



羽床小学校 6年

堂銅 夏未さん

町議会を見学して



羽床小学校 6年

吉田 絢也さん



社会科の授業で国会や町議会の仕組みについて勉強しました。

実際に綾川町議会の様子を見学できると聞いて、とても興味を持ちました。議会では、何億何千万円という単位のお金の話が出ていました。いろいろなことをするにはたくさんのお金が必要なんだなと思いました。

今、役場の近くに生涯学習センターが建てられています。その中には図書館や郷土資料館などができるそうです。

完成したら調べ学習に利用できて便利だなと思います。ぼくたちの願いが実現していくのが議会の場だと思います。

編集後記

町民のみなさんあけましておめでとうございませす。

◎日本漢字能力検定協会が、昨年の世相を表す漢字が「絆」に決定と発表しました。東日本大震災で、家族や地域との絆の大切さを改めて知らされました。被災地の皆様の復興をお祈り申し上げます。

◎12月議会は、決算を可決・承認。また、各常任委員会に付託された議案も、議員から積極的な意見が出され、町も町民の付託に答えられるよう努力する議会となりました。

議会だよりのご愛読を今年もよろしくお願ひします。

議会広報編集委員会

- 委員長 安藤 利光
- 副委員長 福家利智子
- 委員 川崎 泰史
- 委員 福家 功
- 委員 横井 薫
- 委員 鈴木 義明